神戸大学医学部附属病院

糖尿病・内分泌内科

指導担当医（役職）

福岡　秀規（講師）

実習概要

概要

担当医の一人として患者さんを担当します。糖尿病患者さん1例、内分泌患者さん1例を担当し、適宜担当患者さんを追加します。当科は慢性疾患が多いため、治療の主体は外来における長期的な管理です。その中で入院患者さんを担当してもらうという点を踏まえ、実習に取り組みます。問診、診察、症例プレゼンテーションなどを研修医、担当医と共に主治医団の一人として行い、入院期間内にすべきこと、長期的管理を視野に、外来診療へどのように引き継ぐのかを計画、施行し、アセスメントの上、最終的に引継ぎサマリーとしてまとめます。

医療面接

初診時にはじっくりと時間をかけて問診を行い、日々学んだ中で足りない部分を毎日の回診の中で補い、変化があればその点を拾い上げ、カルテに記載します。

実習期間中は感染対策を十分行ったうえで、できるだけ患者さんのところに足を運び、生の話を聞くように心がけて下さい。

経過の長い方は、病気とどのように付き合ってきたか、その全貌を傾聴する事ができればとても勉強になると思います。

身体診察

まずは自分で疾患についてできる範囲で予習をしたうえで身体診察を行ってください。特に身体的特徴を呈する内分泌疾患は、その異常に気付く事ができるかがポイントになります。そのための経験を詰める貴重な実習です。自分の担当患者でなくても、希望があれば患者さんの許可を得られれば身体所見を診させてもらえると思いますので、遠慮せずに主治医、あるいは病棟医長に相談してください。

糖尿病神経障害の診かたについても丁寧に診察所見を自分で取る様にしましょう。

カルテ記載

学生カルテに毎日の診療記録を記載します。初診時は初診カルテを記載し**プロブレム&プラン**を作成し、その後のカルテは**SOAP**により更新事項を記載していきます。週末には**weekly summary**を作成し、退院時には**退院summary**、そして**外来への引継ぎsummary**を記載します。研修医や病棟医のカルテのコピーは不合格となります。必ず自分で得た情報を自分の言葉で記載しましょう。

症例プレゼンテーション

実習開始の翌週火曜日に症例プレゼンテーションをします。担当医の指導を受けながらプレゼンテーションの準備を行い、当日の質疑応答にこたえられるよう準備をしてください。

その他（特色など）

負荷試験を担当医の指導の下施行します。甲状腺エコーは希望者のみが参加できます。

糖尿病教室、病棟カンファレンス、研修医を対象としたミニレクチャーに参加して日常業務を体験します。

当科の特色は学生の意見も、正しいものと考えられれば実際の検査計画や治療方針決定に参入する事が可能という点です。遠慮せず、意見を述べること、質問することをお勧めします。

学生へのメッセージ

臨床実習1は見学的要素が多かったかもしれませんが、この臨床実習2からは担当医としての準備期間です。医師として行う日常診療の基本を実習しましょう。実際に病棟で働いている先輩たちにも医師生活がどんな感じか、いろいろと聞いてみてください。学生の積極性に応じて我々も対応させていただきます。